

歯周治療って面白い！—マンガでわかる考え方とテクニック

1. 基礎編 2. 部位別実践編

東京都日野市・村上歯科医院 村上恵子（歯科衛生士）



B5判 234頁（1. 基礎編／2008年9月発行）
232頁（2. 部位別実践編／同10月発行）
定価 各7,350円（本体7,000円＋税5%）
医歯薬出版刊

本書は、卒後2年目の新人歯科医師（Dr. ゴトー）が歯周治療で有名な歯科医院に勤務することとなり、先輩歯科医師や歯科衛生士、院長の助言を受けながら歯周治療の基本と実践力を徐々に身につけてゆく……という歯周治療の入門書です。読者はDr. ゴトーと同じようにこれから歯周治療を勉強しようとする歯科医師が想定されているようですが、歯科衛生士の皆さんにこの本を紹介する理由は何でしょうか？

臨床のなかで歯科衛生士は、歯周基本治療やSPT、メンテナンスを担当しますが、それは、患者さんが失われた健康を取り戻し、その後のQOL（生活の質）を高め・維持することを目的とした包括的歯科医療の一部を担当するということです。したがって、歯科衛生士と歯科医師は同じゴールに向かい、パートナーとして連携して診療にあたる必要があるのです。

歯周治療では、歯周基本治療のほかに歯周外科

治療や抜歯（戦略的抜歯）が行われることもあります。歯科衛生士には、担当した患者さんの歯周基本治療が終了した後にどのような治療が行われるのかを熟知しておくことが求められます。なぜならば、歯科医師から治療計画が説明され、患者さんの同意が得られたとしても、歯周基本治療で早期から患者さんと接触する機会が多い歯科衛生士がその内容をよく理解し、ことあるごとに説明し、励ますことにより、診療へのより深い理解とモチベーションの向上が得られるからです。

本書は、豊富な資料（口腔内写真、X線写真、プロービングチャート、文献など）をもとに術者がどのような点に着目し、何を考え、判断するかをDr. ゴトーという登場人物に自分を重ねることで疑似体験できるしくみになっています。

歯周治療の全体像を把握することは、ベテランの歯科医師・歯科衛生士にとっても容易なことではありません。ましてや、初学者にとってみれば、患者さんを目の前にして“いったいどこからスタートすればよいのか見当がつかない”というのが本音でしょう。しかし、本書を通してシステムティックな歯周治療の流れを理解することができれば、“いま自分が行っている治療にはどのような意味があるのか”、“問題が発生したときどう対処すべきか”をパートナーである歯科医師と話し合っ解決策を見つけることができるようになるでしょう。

歯周病の治療における「診査→診断→治療」という基本の考え方がマンガ仕立てでやさしく解説されている本書を入りに、あなたも歯周治療ワールドを楽しみませんか？